

同 校 醫

小松 諦 照
黒坂 一等軍醫

本學年各學級々監及び正副級長

高等部三年級 級長 辻 能學

高等部二年級 同 結城 瑞光

高等部一年級 同 深澤 義雅

豫習科 龜口教授 級長 安藤 恭善

中等部五年級 級長 下田 光泉

中等部四年級 遠藤教授 副長 渡邊 泰深

中等部三年級 宇田川教授 副長 高山 惠忍

中等部二年級 高木教授 副長 池田 壽星

中等部一年級 服部教授 副長 松村 文光

副長 秋山 清吾
望月 智善

大正十年度の授業成績は兼ねてよりの報恩大法要で頗る打撃を受けたが能明一致最大の努力を傾注して従來の好果を獲得せんとの意氣込みで勉強しつゝあり

又昨年來學生の希望たりし運動場寄宿舎設置の事に就ては近々其の實現を見るであらう、運動場の如きは既に實測も終り着手するのみとなり、寄宿舎は山規の定むる昨今年十一月の常置會に當局の呈案建議案として通過する事を期待して居る何れにしても來學年度迄には内部の改革即ち特典待遇外部の設備も充實するであらうし従つて學生の増員等も順次行はれ且つて希望せし阜師修師の御意志も實現されると欣快置く能はざる所である猶豫告してある祖山同志會も役員の詮考もあつて着々進捗して居る然し名簿作製に於て最も困難を感ずるのは明治九年頃から明治三十年頃に至る間の在籍者で名前漏り住所の不明が多き事である、若し其の當時の方々に御氣付きになつたら恐縮乍ら一報を初望して止まぬ次第である。